

第1回耳納北麓観光拠点施設指定管理者候補者選定委員会会議録

- 日 時：令和3年6月11日（金） 15時00分～16時00分
- 場 所：職員会館メルクス 3階会議室
- 出席委員：吉田洋一委員、石井寿佳委員、橋本浩子委員、大橋勝己委員
- 欠席委員：中村美喜委員

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員紹介及び事務局紹介
- 4 選定委員会の運営等について

【事務局】

- ・選定委員会に関する説明
- ・今後のスケジュールに関する説明
- ・選定委員会委員名簿及び会議録の公開に関する説明

- 5 委員長及び副委員長の選出

- ・久留米市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第8条第2項の規定に基づき、委員の互選により委員長を大橋勝己委員、副委員長を吉田洋一委員に決定。
- ・選定委員の議長は、久留米市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第9条第2項により、委員長を議長に選出。

- 6 議案

- (1) 募集要項（案）について

【事務局】

募集要項（案）について説明

【委員】

説明会の告知はいつから始めるのか。

【事務局】

選定要項に掲載しているなので、要項を配布する6月15日が告知開始となる。

【委員】

現地説明会に参加しなくても応募はできるのか。

【事務局】

応募の必須条件ではないので可能。

【委員】

説明会に来た業者が応募数の推定となるのか。

【事務局】

前回の選定では5社が説明会に来て、2社の応募があったため、説明会に来た業者数が応募数の推定となる。

【委員】

今の指定管理者が説明会に来ることはあるのか。

【事務局】

前回の選定から5年が経過し制度も大きく変わっているため、来る事も想定されるが実際はあまり来ていないのが現状。

【委員】

委員として現地説明会に参加することは可能か。

【事務局】

応募者と委員との接触が禁止されているため、説明会のご要望があれば別途調整させていただきたいと考えている。

< 審議結果 >

別途委員向けの説明会を調整することで、事務局案を承認。

(2) 選定要領（案）について

【事務局】

選定要領（案）について説明

【委員】

2回目の選定の後の採点はその場ですぐに行われ、集計されるのか。

【事務局】

ご明察のとおりである。

【委員】

応募者がいなかった場合はどのような取り扱いになるのか。

【事務局】

仕様書の見直しによる再募集や、特例による外郭団体等の選定だけでなく、指定期間の延長等も含め、施設ごとの状況を踏まえて、行財政改革推進課と協議をした上で、対応を検討する必要がある。

【委員】

再募集の可能性があるということか。

【事務局】

ご明察のとおりである。

【委員】

採点の手法、タイミング、時間などに関しては事務局案もあると思うが、委員会の中で決定していく。

【委員】

採点に際して、どれを基準とするかなど判断に迷うこともあるかと思うが、委員同士で協議するかということも含めて委員会で決めていくということによろしいか。

【委員】

協議を行うとその意見に引っ張られるなど、正当な判断ができなくなる可能性があるが、いろいろな意見を出しながら委員会の運営方法を定めていく。

【委員】

すべてプレゼンテーションが終わった後に採点を行うと忘れてしまうなどの問題が起こるため、その都度採点の時間をもらった上で、最終的に協議を行う時間をもらいたい。

【事務局】

第2回の委員会の際に、採点方法等については調整したい。

【委員】

採点基準が変更になっているとのことだが、変更した理由と、所管課としてどの点に重きを置いているのか。

【事務局】

採点項目の2、3の、地域や施設間で連携して耳納北麓観光拠点施に、来館者を増やす企画、取組を行えるかを重要視している。また、重要視する点が変わったことに伴い採点基準を変更した。

【委員】

採点項目に「耳納北麓地域の観光資源について理解した内容か」という項目があるが、私自身がそれを理解していないため、何か勉強会などを行っていただきたい。

【事務局】

先ほど委員の方から要望のあった現地説明会を行い、そこで説明していく方向で考えたいが、そもそも委員に対する説明会を制度上、開催が可能であるかも含めて調整いたしたい。また、施設の概要等については封筒の中にあるパンフレット等を参照したい。

【委員】

採点項目2の「地域団体との連携が十分に図られているか」については過去どのような連携実績があるのか。

【事務局】

資料5仕様書5ページのつばき館固有業務のところ、これまでの連携実績を記載している。また、地域イベントとの連携については8ページに記載している。草野地区は、イベントにも精力的で、椿を生かした様々な取組を行っているため、そのような取組をより盛り上げられるところに高い点数がつくように設計している。

【委員】

新型コロナウイルス感染症によってどのような影響を受けているのか。

【事務局】

近年は地域イベントも行えていない。

【委員】

それを踏まえると、今後の地域イベントや連携は難しい部分があるのか。

【事務局】

それに関しては地域と協議を重ねながら連携を行い、事業を進めてもらいたい。

< 審議結果 >

事務局案を承認。

(3) その他について

委員からの質問・意見なし

7 その他

今後のスケジュールについて説明

8 閉会